

藤岡小だより

令和 6 年 11 月 22 日発行

学校教育目標 『**楠のように大きく香り高き人に**』

重点目標 「**自分で、自分から よりよく判断して行動しよう!**」

【本年度の全国学力学習状況調査の結果～藤岡小の概要～】

	全国・県の平均を上回る	全国・県の平均を下回る	今後の対応
国語	<p>☆言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉書き言葉の違いに気づくことができる。 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。 分の中における主語と述語との関係を捉えることができる。 <p>☆書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 <p>☆読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 	<p>★話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、<u>伝え合う内容を検討</u>することができる。 資料を活用するなどして、<u>自分の考えが伝わるように表現を工夫</u>することができる。 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、<u>伝え合う内容を検討</u>することができる。 <p>★読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の相互関係や心情などについて、<u>描写を基に捉える</u>ことができる。 <p>★我が国の言語文化に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的に読書に親しみ、<u>読書が、自分の考えを広げる</u>ことに役立つことに気づくことができる。 	<p>◎全ての授業で、相手意識を大事にしながら、話す力、聴く力を育てていきます。そして、子供たちが、力を合わせ主体的・対話的に学び合う授業を継続していくことで、資質・能力のさらなる育成を目指します。</p> <p>◎子供たちが、学習した知識・技能を日常生活と絡めながら習得できるよう、課題や問題を工夫し、子供たちの迷いや葛藤、決断していく場を大切にしていきます。子供が自己決定する場面や、子供自身の学びの道筋を大事にすることにより、今後も自ら追究を楽しむ「主体的な学び手」を育てていきます。</p> <p>◎国語科では、複数の言葉（叙述・描写）を結び付けて考える力を育成していきます。このような力は、自分の考えを話したり書いたりして表現する際に、様々な情報から必要な情報を選択し、相手に分かりやすく伝える力につながります。自分の考えを、根拠を明確にして相手に伝えることができた実感することで、国語を学ぶ意義や喜びを感じられるようにしていきます。</p> <p>◎算数科では、様々な考察を取り入れたり、求めたことが妥当であるかを判断したりする活動をこれまで以上に取り入れていきます。</p>
算数	<p>☆知識・技能（図形・データの活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> 直方体の見取り図について理解し、かくことができる。 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解している。 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる。 <p>☆思考・判断・表現（数と計算）</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。 	<p>★思考・判断・表現（図形・変化と関係・データの活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> 角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその<u>理由を言葉と式を用いて記述</u>できる。 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その<u>理由を言葉や式を用いて記述</u>できる。 折れ線グラフから必要な数値を<u>読み取り</u>、条件に当てはまることを<u>言葉と式を用いて記述</u>できる。 	<p>◎「人が困っているときは、進んで助けている。」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」「人の役に立つ人間になりたいと思う。」の数値が例年高い水準にあります。今後も人権教育、ピア・サポート活動を継続して豊かな心の育成に努めます。</p> <p>◎子ども同士、子供と教師の温かな人間関係を大切に、信頼関係の構築に努めます。</p>
学習状況	<p>☆人が困っているときは、進んで助けている。(100%)</p> <p>☆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(100%)</p> <p>☆人の役に立つ人間になりたいと思う。(100%)</p> <p>☆PC・タブレットなどのICT機器を活用して、分からないことがあったときに、すぐ調べることができる。友達と考えを共有したり比べたりしやすいと感じている。</p>	<p>★毎日、同じくらいの時刻に寝ている。(68%) 毎日、同じくらいの時刻に起きている。(72%)</p> <p>★困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。(63%)</p> <p>★地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う。(86%)</p>	<p>◎「人が困っているときは、進んで助けている。」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」「人の役に立つ人間になりたいと思う。」の数値が例年高い水準にあります。今後も人権教育、ピア・サポート活動を継続して豊かな心の育成に努めます。</p> <p>◎子ども同士、子供と教師の温かな人間関係を大切に、信頼関係の構築に努めます。</p>

今後も、藤岡小学校の重点目標「自分で、自分から、よりよく判断して行動しよう!」に向けて教育活動を推進していきます。

子供たちが教育を通して幸せや満足感を感じる気持ちを育むことができるよう、教育活動全体を通して「わかった」、「できた」、「うれしい」と幸福を感じられる、一人一人に寄り添った指導を継続していきます。